

研修で
学校が
変わる

中堅教諭等資質向上研修① 6年目研修① まとめ



令和3年5月10日(月) webによる遠隔研修

「児童生徒理解に基づくSEL-8Sの実際」

人間関係能力を育てる取組 (Social and Emotional Learning of 8 abilities at School)

Social (社会性) と Emotional (情動) の学習

講師 山田 洋平 氏 (島根県立大学 准教授)

【研修のねらい】

- 児童生徒の社会性を育む具体的取組について理解を深め、一人一人の自立をめざす。

明日への想い (中堅教諭)

子どもたちの社会性が身に付いていないと感じ、子どもたちができていないと指導することが多々あった。そのスキルを身につける学習をすることの大切さを再認識した。本校も学活の年計にSEL-8Sを入れているが、新しい先生方若手の先生方にも授業実践を公開することで、校内での取組を活性化させたいと思う。本日学んだことを校内に広める機会にしていきたい。(小学校)

明日への想い (中堅教諭)

ソーシャルスキルとして出力のトレーニングを意識することはしてきたが、入力や処理の段階でつまづいてしまいトラブルになっている生徒もいるのだと改めて認識した。生徒指導や学級活動などの場面で注視していきたい。SEL-8Sの取り組みの有効性がよくわかったので取り組んでいきたいが、道徳や学活など時間の限られる中でどう教育過程に取り込めるのか考えていきたい。(義務教育学校)

明日への想い (中堅教諭)

生徒理解の上で、生徒の困り感やつまづきがどのレベルなのか細かく分析する必要があるとあらためて感じた。この生徒理解のスキルや視点を特に初任者など若手の教員に伝え、少しでも学級経営や教科経営の参考にしてもらえる場を設定していきたい。(中学校)

一部の子どもの問題ではない!

社会性の未熟さ

SEL-8Sでねらいとする8つの能力

基礎的な社会的能力

- a 自己への気づき
- b 他者への気づき
- c 自己のコントロール
- d 対人関係
- e 責任ある意思決定

応用的な社会的能力

- f 生活上の問題防止のスキル
- g 人生の重要事項に対処する能力
- h 積極的、貢献的な奉仕活動

例えば
★年間10回
月1回1単位時間の実施が望ましい

ポイント

学校行事と関連づけて年間指導計画を作成する

★年間10回
月1回1単位時間の実施が望ましい

社会性を育成する意義

- ◆従来は、家庭や地域社会で社会性を身に付ける機会や場所が提供されていた
- ◆現在は、意図的・計画的に育成する必要がある
- ◆その役割は学校が果たさざるを得ない

子どもたちの現状

感情機能(感情の理解・コントロール・表現)がうまくいかない



- ▼ SSTでスキルだけ教えるのでは社会性の育成は難しい
- ◎ 子どもたちの社会性を育成するためには、「入力」「処理」「出力」を包括的に教える必要がある
- ◎ 感情の理解やコントロールの仕方についても教えていかなければならない

明日への想い (6年目教諭)

学校行事などと結び付けながら、学級活動、道徳の時間などを活用し、望ましい行動を子どもたち同士で議論させたり、ロールプレイをさせたりしながら身に付けさせたい。そして、そのような姿が日常の中に見られた時は、しっかりと褒め、強化したい。(小学校)

明日への想い (6年目教諭)

前任校でSEL-8Sを実践し、児童の社会性を育むのに効果的な取り組みであることを実感した。本日改めて山田先生のお話を聞き、校内体制で取り組むことが難しくても、学級で取り組み、他の先生方にお勧めして広げていきたいと思った。(小学校)

明日への想い (6年目教諭)

国語科の教師として、表情や仕草から相手の心情を察する力が低下している、またそういう子どもが増えているというのは実感していた。先生のお話にもあったが、感情をラベリングする、言語化するというのは他者の感情を理解する一歩だと思う。国語科が担う部分も大きいと思うので、今一度教科を通してできることも考えていきたいと思った。(中学校)

SEL-8研究会

URL <http://www.sel8group.jp>

社会性と情動の学習(SEL-8S)の進め方 (小学校編)
社会性と情動の学習(SEL-8S)の進め方 (中学校編)
に掲載されている授業用資料 (PDF/WORD) の他、
保護者ワークショップ用資料・評価用資料 等、すぐに活用できる資料が満載です。